



原型をつくらない生型鑄造 同じものがつukれない生型鑄造

第6回《最終回》 工芸基礎演習（金工）「生型鑄造」授業作品の－販売－

※学生も買えます

- 展示日：2021年12月7日（火）～12月13日（月） 9:00～18:30 <土日は休業です>
- 会場：富山大学 高岡キャンパス 1階 TSUMAMA ホール
- 販売：2階の会計チーム（酒井）までお申し出ください（購入作品は会期後に大学からお届け先にお送りいたします）。

高岡の地場産業 高岡銅器で用いる生型鑄造技法で、富山大学芸術文化学部が学生が授業で製作した116点を昨年に続き**市民の皆様へ販売します**。これらは、当初から商品化することを目的に、学生のアイデアで製作した成果品です。美術工芸作品とは異なる、販売を前提にした「産業工芸品の研究」を行いました。適正な販売価格や消費者需要を学生が研究するための「売る授業」です。

生型鑄造法は一般的には同一品種大量生産型ですが、**鑄型を彫る、削る方法**で学生が考えた「多品種一品生産型」は他に例の無い**新生型鑄造の可能性**を提案します。錫15%・銅85%の青銅を用い、厚さ2ミリ以下の鑄造も可能です。是非 ご高覧ください。

【問合せ先】 三船温尚（授業担当：<代表電話> 0766-25-9111）

